(別添)

「永年生牧草地の除染に当たっての留意事項について」(平成25年4月1日付け24生畜第2709号(平成27年8月3日付け27生畜第799号 一部改正) 農林水産省生産局畜産部畜産振興課長通知)の一部改正新旧対照表

改 正 後

現 行

生産局畜産部畜産振興課長

生産局畜産部<u>飼料</u>課長

永年生牧草地の除染等に当たっての留意事項について

永年生牧草地の除染については、管内の各県でその推進にご尽力頂いており、除染後の牧草地の放射性セシウムの検査の結果約9割で飼料の暫定許容値を下回っていることから、その効果が確認されているところです。しかし、除染後も暫定許容値を超えた牧草地もあることから、各県や国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構のご協力を得てその要因の分析を進めてきたところです。

この結果を踏まえ、除染後の永年生牧草地から暫定許容値を超過する牧草が生産された要因並びに除染及び除染後の牧草給与に当たっての留意事項を、下記のとおり整理したので、今後の除染等に当たっては、本通知に留意され作業を行うよう、管内各県への周知をお願いします。

記

1 除染後の永年生牧草地から暫定許容値を超過する永年生牧草が生産された要因

[略]

(1)~(5)[略]

- 2 永年生牧草地の除染及び除染後の肥培管理に当たっての留意事項 [略]
- (1) [略]
- (2) 土壌中の交換性カリ含量については、各県で定めている除染時の土壌管理指標値に示される水準(30~40mg/100g程度、0~15cm深)を目標とし、原則として土壌診断の結果を踏まえ施肥を行うとともに、その後も土壌中の交換性カリ含量の水準を維持できる肥培管理を行うこととし、目標水準以上になるような過剰なカリ施肥は避けること。[中略]「削除」

永年生牧草地の除染に当たっての留意事項について

永年生牧草地の除染については、管内の各県でその推進にご尽力頂いており、除染後の牧草地の放射性セシウムの検査の結果約9割で飼料の暫定許容値を下回っていることから、その効果が確認されているところです。しかし、除染後も暫定許容値を超えた牧草地もあることから、各県や国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構のご協力を得てその要因の分析を進めてきたところです。

この結果を踏まえ、除染後の永年生牧草地から暫定許容値を超過する牧草が生産された要因及び除染に当たっての留意事項を、下記のとおり整理したので、今後の除染に当たっては、本通知に留意され作業を行うよう、管内各県への周知をお願いします。

記

1 除染後の永年生牧草地から暫定許容値を超過する永年生牧草が生産された要因

[略]

(1)~(5)[略]

- 2 永年生牧草地の除染及び除染後の肥培管理に当たっての留意事項 [略]
- (1)[略]
- (2) 土壌中の交換性カリ含量については、各県で定めている除染時の土壌管理指標値に示される水準(30~40mg/100g程度、0~15cm深)を目標とし、原則として土壌診断の結果を踏まえ施肥を行うとともに、その後も土壌中の交換性カリ含量の水準を維持できる肥培管理を行うこと。[中略] なお、除染時の交換性カリ含量の目標水準は、通常の施肥基準よりも高く、生産される永年生牧草中のミネラルバランスが通常と異なることから、家畜に乳熱やグラステタニーを発生させないよう、可能な限り永年生牧草のミネラル濃度を確認の上、給与量の調整に留意すること。

改 正 後	現 行
(3)[略]	(3)[略]
3 除染効果の確認に当たっての留意事項	3 除染効果の確認に当たっての留意事項
[略]	〔略〕
(1)~(3)[略]	(1)~(3)〔略〕
4 永年生牧草地の再除染に当たっての留意事項	4 永年生牧草地の再除染に当たっての留意事項
〔略〕	〔略〕
5 今後の取組に当たっての留意事項	5 今後の取組に当たっての留意事項
〔略〕	〔略〕
6 除染後の牧草給与に当たっての留意事項 [新設] 牧草地にカリウムを多く投入すると放射性セシウムの吸収抑制対策となる一方、牧草中のカリウム濃度は上昇する傾向にある。除染後の牧草を牛に給与する場合、牛の体内でのカルシウム等の吸収を阻害し、カルシウムやマグネシウムが欠乏し、周産期病(ダウナー症候群、乳熱等)やグラステタニーの原因となる可能性があることから、可能な限り牧草のカリウム等のミネラル濃度を確認の上、給与量の調整に留意すること。 特に泌乳牛へ給与する飼料全体のカリウム濃度は、乾物中の3.0%以下になるように飼料設計を行うとともに、急激な飼料の切り替えは、牛の負担にもなることから、徐々に新しい飼料に慣らしていく等の工夫が必要である。 生産現場に対する除染後の牧草給与に当たっては、これらの留意事項を周知徹底するよう指導をお願いする。 また、既存の補助事業等を活用し、除染後の牧草地の土壌や牧草中のカリウム濃度の検査を推進するよう併せて指導をお願いする。	